

全日本吹奏楽コンクールについてのQ & A (2013 年度版)

全日本吹奏楽コンクールにおいて、課題曲及び自由曲を演奏するにあたり、加盟団体の皆さまから多くいただいたお問い合わせに、Q & Aでお答えします。ご質問や下記内容以外にお問い合わせがありましたら、会員連盟・支部を通じてお願いいたします。

◆課題曲・自由曲、全般について◆

Q 1 少人数バンドが、全日本吹奏楽コンクールにつながる部門に出場したいと考えています。もし、課題曲のスコア上の楽器及びパートが欠けてしまう場合は、他の楽器で演奏することは認められますか。

A 1 欠けてしまう楽器及びパートがある場合は、演奏しようとする課題曲に使われている他の楽器で演奏することは認めます。

補足① 欠けてしまう楽器の音域を変えないで演奏できる楽器がある場合は、その楽器で代用してください。

補足② 欠けてしまう楽器の音域を変えないで演奏できる楽器がない場合は、スコアに示された楽器で代用してください。

補足③ オプションパートが欠けてしまう場合は、オプションパートを他の楽器で代用することは認められません。

Q 2 自由曲でリコーダーを使うことは認められますか。

A 2 原曲に指定がある場合は認めます。しかし、編曲の際に使用することは認められません。

※アンサンブルコンテストにおいても同様とします。

Q 3 自由曲で歌詞が入った曲は認められますか。

A 3 吹奏楽コンクールですから、歌詞の入った曲は認められません。ただし、スキヤットは認めます。

Q 4 自由曲で琴・箏、尺八の使用は認められますか。

A 4 琴・箏は認められません。尺八は木管楽器に準じ、認めます。

◆課題曲について◆

Q 1 Fl. 1 と Fl. 2 の奏者は、1 名ずついますが、Picc. 奏者がいません。その場合は、Fl. 1 と Fl. 2 の奏者が適宜、Picc. に持ち替えて Picc. パートを演奏することは認められますか。

A 1 楽譜どおりに演奏していれば、持ち替えて演奏することは認めます。

- Q 2 Fl. 奏者が3名いて Picc. 奏者がいません。そのうちの1名が一部分のみ、Picc. に持ち替えて演奏することは認められますか。
- A 2 楽譜どおりに演奏していれば、持ち替えて演奏することは認めます。
- Q 3 Picc. 奏者が休みの部分を Fl. に持ち替えて Fl. パートを演奏する、管楽器奏者が部分的に打楽器を演奏するなど、持ち替えた楽器のパートを演奏することは認められますか。
- A 3 楽譜どおりに演奏していれば、持ち替えて演奏することは認めます。
- Q 4 B♭Cl. 奏者が4名います。Cl. 1、Cl. 2、Cl. 3に1人ずつ割り当てて、4人目は、Cl. 1、Cl. 2、Cl. 3を適宜演奏することは認められますか。また、B. Cl. 奏者がいないので、B♭Cl. 奏者の1人が、B. Cl. を適宜演奏することは認められますか。
- A 4 楽譜どおりに演奏していれば認めます。
- Q 5 B♭Cl. 奏者が5名います。Cl. 1に3名、Cl. 2に2名配置し、Cl. 3に奏者を割り当てないで、Cl. 3を他の楽器で代用することは認められますか。
- A 5 B♭Cl. 奏者が3名以上いるので、認められません。
- Q 6 E♭Cl. パートが休みの場合、Cl. 1のパートをE♭Cl. 奏者が、E♭Cl. で音域を変えないで演奏することは認められますか。
- A 6 指定の楽器ではないので認められません。
- Q 7 6名いるB♭Trp. 奏者を、あるところまでは、1番：2番：3番＝2：2：2と割り振り、それ以降は、3：1：2と割り振ることは認められますか。
- A 7 楽譜どおりに演奏していれば認めます。
- Q 8 1パートを複数奏者で演奏しています。パッセージが難しい場合は、分割して演奏することは認められますか。
- A 8 楽譜どおりに演奏していれば認めます。
- Q 9 Perc. 奏者が4名必要な課題曲を演奏する予定ですが、3名しかいない為、指定の4パートを再編したうえで、演奏することは認められますか。(演奏できない部分がある、それぞれのパートで発生してしまうため)
- A 9 楽譜どおりに演奏していれば認めます。
- Q 10 Perc. パートを実必要人数(この曲は4名)以上で演奏することは認められますか。
- A 10 楽譜どおりに演奏していれば認めます。

Q11 スネアドラムのパートを、部分的に2台の楽器で演奏することは認められますか。

A11 楽譜どおりに演奏していれば認めます。

Q12 曲中、指定された打楽器で、異なる楽器(違うサイズ・違う音程等)を使い分けることは認められますか。

A12 楽譜どおりに演奏していれば認めます。

Q13 指定された調性以外の楽器(例えばクラリネットとトランペットについて、B♭管以外のA管・C管等)を使用することは認められますか。

A13 調性が指定されているので認められません。ただし、ホルン・チューバには調性の指定はありません。

Q14 トランペットパートをホルネット演奏することは認められますか。また、一部分をホルネットに持ち替えて演奏することは認められますか。

A14 トランペットが無い場合、全曲にわたってホルネット演奏することは認めます。ただし、一部分だけ持ち替えることは認められません。また、課題曲をホルネット演奏した場合、自由曲でトランペットを使用することも認められません。

Q15 ホルンの代わりにメロフォン・アルトホルンを、ユーフォニウムの代わりにバリトンを使用することは認められますか。

A15 その楽器が無い場合は認めます。その場合、自由曲でホルン・ユーフォニウムを演奏することは認められません。

Q16 Tuba パートがオクターブに分かれていて、奏者が一人の場合は、上声下声どちらを演奏しても認められますか。

A16 どちらを演奏しても認めます。

Q17 solo と指定されている箇所を複数奏者で演奏することは認められますか。

A17 認められません。

Q18 課題曲Ⅲのドラムセットについて、アドリブは認められますか。

A18 認められません。